

処 理 施 設 維 持 管 理 計 画 の 概 要

- 放流水調査およびその他周辺地域の保全のための調査計画
次の調査について定期的に実施する。
実施頻度、項目等については別紙のとおり。
 1. 浸出水原水および放流水(下水道投入水)の水質調査
 2. 次郎九郎川の河川水質調査
 3. 地下水質調査
 4. 悪臭調査
 5. 温室効果ガス調査
- 施設の点検等に関する計画
 1. 浸出水処理施設について
2系列の処理系統とし、浸出水量が少ない渇水期に、1系列毎に点検・補修を行う。
 2. 擁壁(貯留構造物)・浸出水貯留池・防災調整池・雨水排水溝の定期点検を実施する。
- その他維持管理に関する事項
 1. 埋立方法 ※
廃棄物層2.5m毎に0.3mの中間覆土の実施および1.5mの最終覆土ならびに日毎の即日覆土の実施
 2. 搬入ルート ※
道路事情が改善されるまでの間は、限定された地域や異常時を除き、国道1号線(蟹が坂交差点)からの経路とする。
 3. ~~—王事中の濁水防止のため、仮設沈砂池を設置—~~
 4. 多降雨時の洪水調整のため、防災調整池を設置
 5. 土工事終了後は速やかに種子吹き付け等の緑化、モルタル吹き付け等により、濁水の防止を図る。
埋立終了後のヒノキの植栽
 6. 搬入時の検査について ※
展開検査の実施、汚泥・煤塵・燃え殻・鉋さいについての成分分析検査の実施および搬入車両に識別のため車両に搬入車証を付けさせる。

※ 産業廃棄物の受入については令和5年10月末をもって終了

放流水調査およびその他周辺地域の保全のための調査内容は表1～5のとおり。

表 1 放流水調査およびその他周辺地域の保全のための調査内容

環境要素	調査内容	調査範囲・地点	項目・時期・頻度
水質	浸出水処理施設の 浸出水原水水質及び放 流水(下水道投入水)水 質	浸出水処理施設の ・原水モニタリング槽 ・処理水モニタリング槽 の 2 地点	表 2 に示す水質項目および頻度
	河川水質 (次郎九郎川)	St.4、5、9、12 の 4 地点	表3と表4に示す水質項目および頻度
地下水	地下水水質 地下水位	地下水(地下水集排水管の出口 (M-3)、事業実施区域最下流部 (M-2)、漏水の影響を受けない 地点(M-1))の計 3 地点	表5に示す水質項目および頻度、地 下水位は 1 回/月
悪臭	①特定悪臭物質濃度	敷地境界 1 地点および 発生ガス抜き管 1 ヶ所	①特定悪臭物質 22 項目、②臭気指 数、③発生ガス量を、夏季に 1 回/年
	②臭気指数		
	③発生ガス量 (ガス抜き管のみ)		
温室効果 ガス等	①ガス濃度 ②発生ガス量	発生ガス抜き管 1 ヶ所	①メタン、二酸化炭素、酸素、一酸 化炭素、亜酸化窒素の 5 項目、②発 生ガス量を、夏季に 1 回/年

表 2 浸出水原水、放流水(下水道投入水)の観測項目と観測頻度

項目		頻度	1回/ 月	4回/ 年	2回/ 年	1回/ 年	項目		頻度	1回/ 月	4回/ 年	2回/ 年	1回/ 年
生活環境項目等	水素イオン濃度		○				健康項目	カドミウム			○		
	BOD		○					全シアン			○		
	COD		○					有機リン			○		
	浮遊物質		○					鉛			○		
	n-ヘキサン抽出物質		○					六価クロム			○		
	(鉍物油)		○					砒素			○		
	(動植物油)		○					総水銀			○		
	フェノール類				○			アルキル水銀			(○)		
	銅				○			PCB			○		
	亜鉛				○			トリクロエチレン			○		
	鉄(溶解性)				○			テトラクロエチレン			○		
	マンガン(溶解性)				○			1,1,1-トリクロエタン			○		
	全クロム				○			ジクロメタン					○
	大腸菌数		○					四塩化炭素					○
	全窒素		○					1,2-ジクロエタン					○
	全リン		○					1,1-ジクロエチレン					○
	アンモニア性窒素		○					1,2-ジクロエチレン					○
	亜硝酸性窒素		○					1,1,2-トリクロエタン					○
	硝酸性窒素		○					1,3-ジクロプロパン					○
	ケルゲル窒素		○					チウラム					○
	アンチモン(Sb)				○			シマジン					○
	ニッケル				○			チオベンカルブ					○
	電気伝導率		○					ベンゼン					○
	塩化物イオン		○					セレン					○
	水温		○					ふっ素				○	
	沃素消費量		○					ほう素				○	
	その他(色および臭い)		○					1,4-ジオキサン					○
								ダイオキシン類					○*

(注)アルキル水銀は、総水銀が検出された時のみ分析を行う。

(注)1,2-ジクロエチレンについてはシス体、トランス体を測定し合計している。(地下水・河川水も同様)

*:必要に応じて回数を増やして実施。

表3 河川水の観測項目と観測頻度①

項目	頻度	1回/月	項目	頻度	1回/月	項目	頻度	1回/月
水素イオン濃度		○	全燐		○	電気伝導率		○
BOD		○	n-ヘキサン抽出物質		○	塩化物イオン		○
COD		○	(鉍物油)		○	水温		○
浮遊物質		○	(動植物油)		○	色及び臭い		○
DO		○	アンモニア性窒素		○	透視度		○
大腸菌数		○	亜硝酸性窒素		○	流量		○
全窒素		○	硝酸性窒素		○			

表4 河川水の観測項目と観測頻度②

項目	頻度	項目	頻度	項目	頻度
	1回/年		1回/年		1回/年
銅	○	総水銀	○	1,3-ジクロロプロペン	○
亜鉛	○	アルキル水銀	(○)	チウラム	○
鉄(溶解性)	○	PCB	○	シマジン	○
マンガン(溶解性)	○	トリクロエチレン	○	チオベンカルブ	○
全クロム	○	テトラクロエチレン	○	ベンゼン	○
フェノール類	○	1,1,1-トリクロロエタン	○	セレン	○
アンチモン(Sb)	○	ジクロロメタン	○	ふっ素	○
カドミウム	○	四塩化炭素	○	ほう素	○
全シアン	○	1,2-ジクロロエタン	○	1,4-ジオキサン	○
鉛	○	1,1-ジクロロエチレン	○	ダイオキシン類	○
六価クロム	○	1,2-ジクロロエチレン	○		
砒素	○	1,1,2-トリクロロエタン	○		

(注) アルキル水銀は、総水銀が検出された時のみ分析を行う。

(注) 表4については St.4、St.5、St.9 の3地点で実施

表5 地下水の観測項目と観測頻度

項目	頻度	項目	頻度
	1回/月		1回/月
	1回/年		1回/年
水素イオン濃度	○	1,1-ジクロロエチレン	○
電気伝導率	○	1,2-ジクロロエチレン	○
塩化物イオン	○	1,1,1-トリクロロエタン	○
カドミウム		1,1,2-トリクロロエタン	○
全シアン		1,3-ジクロロプロペン	○
鉛		チウラム	○
六価クロム		シマジン	○
砒素		チオベンカルブ	○
総水銀(アルキル水銀)		ベンゼン	○*
PCB		セレン	○
トリクロエチレン		硝酸性窒素	○
テトラクロエチレン		亜硝酸性窒素	○
ジクロロメタン		ふっ素	○*
四塩化炭素		ほう素	○*
1,2-ジクロロエタン		1,4-ジオキサン	○
クロロエチレン		ダイオキシン類	○*

(注) アルキル水銀は、総水銀が検出された時のみ分析を行う。

*: 必要に応じて回数を増やして実施。